



令和2・3年度鹿児島県「たくましい“かごしまっ子”」育成推進事業推進校

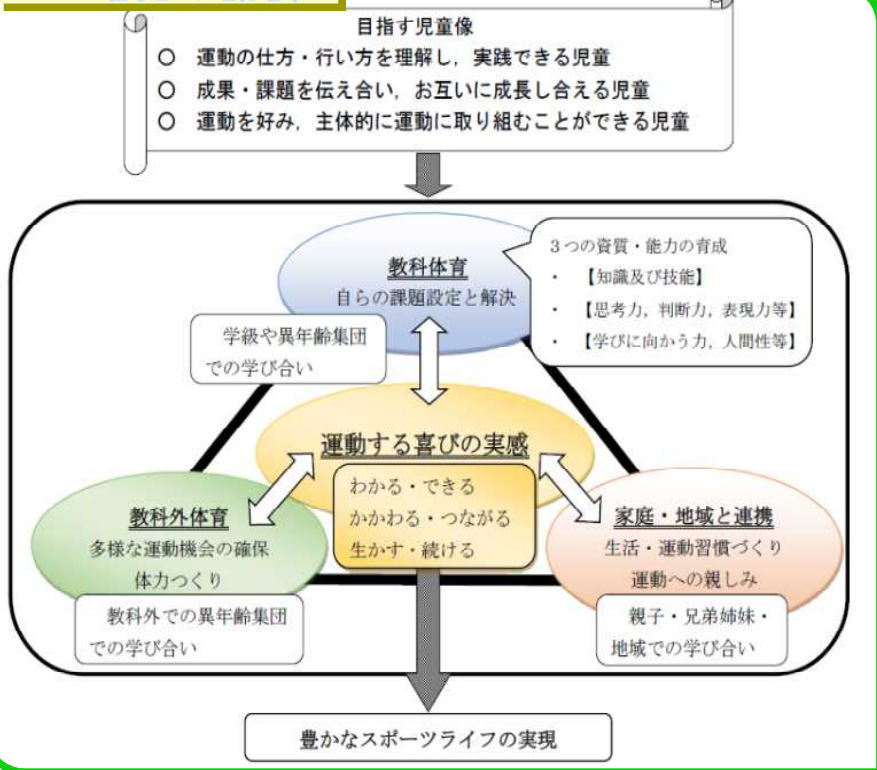
奄美市立手花部小学校研究公開

令和3年11月26日(金)

< 研究主題 >

学び合いを通して、運動する喜びを実感できる児童の育成
～ 小規模校における異年齢集団の取組 ～

1 研究の概要



2 研究の仮説と手立て

仮説1 教科体育での取組

児童が学習内容を理解して見通しをもって運動に取り組むことで、課題を設定したり解決したりすることができるようになり、運動する喜びを実感できるのではないか。

手立て1

- ア 段階的な単元構成の設定
- イ 一単位時間の指導過程の工夫
- ウ めあてとまとめの言語化
- エ 学び合いの場の設定と教具の工夫

仮説2 教科外体育での取組

多様な運動機会を確保することで体力・運動能力が高まり、運動する喜びを実感できるのではないか。

手立て2

- ア 児童会主体の遊びを通じた体力づくり
- イ 仲良し体育における、運動遊びや運動の充実
- ウ 一校一運動を通じた体力づくり(ランニング・長縄・エイトマン)
- エ 仲良し保健や学級活動における保健指導の充実

仮説3 家庭・地域との連携

家庭や地域と連携し、授業、生活・運動習慣を改善することで、運動に親しむようになり、運動する喜びを実感できるのではないか。

手立て3

- ア 地域人材の活用
- イ スポーツクラブなどからの講師招聘
- ウ 健康生活リズムチェックを通じた、調査・統計、生活の見直し
- エ 家庭への運動習慣の啓発

3 公開授業

13:30～14:15

単元「手花部オリンピックをひらこう」(5/8)

1・2年 器械・器具を使つての運動遊び(マットを使った運動遊び)
3～6年 器械運動(マット運動)

つかむ・見通す



苦手意識を払拭し、リズムカルに楽しく運動しながら基本の動きを習得させる「慣れの運動」からめあての設定へ。

試す・深める ①



ゲストティーチャーの模範演技と技のコツの説明。本時への理解を深め、児童の意識をより明確な目標へと導く。

試す・深める ②



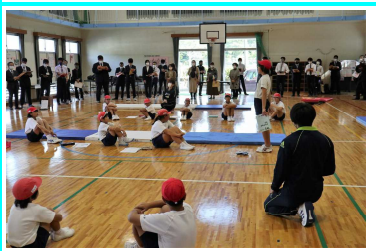
縦割りグループで、お互いの技を見合ったり、動画に撮ったりして、教え合い、学び合いながら練習する。

試す・深める ③



練習した成果を各学級で発表し、お互いの頑張りや成果を讃え合って、達成感を味わわせる。

まとめる



「全体」→「個人」→「友達への称賛」の形で振り返り、さらに向上心をもたせ、より高い目標へとつなげる。

4 全体会

全体会Ⅰ 14:40～15:15

全体会Ⅱ 15:25～16:15

全体会Ⅲ 16:15～16:40

全体会Ⅰ (開会行事・研究発表)



大島教育事務所長挨拶



奄美市教育委員会教育長挨拶



研究発表

全体会Ⅱ (研究協議・意見交換)



司会進行



指導助言

全体会Ⅲ (指導講話・閉会行事)



指導講話



学校長挨拶

5 アンケートより

参加者50人(行政9人・来校者32人・保護者等9人)

- 子供たちが楽しそうに体育に取り組み、異学年間でも同学年間でも、お互いのよさを認め合い励まし合っている姿に感動した。ぜひ本校でも取り入れていきたい。
- 目標の違う低中高学年が、一堂に会しての体育の在り方が大変勉強になった。
- 担任している児童の評価、担当グループの児童の評価等大変だと思ったが、工夫した評価票を使って3人の教師が共通理解のもと行っており、とても参考になった。
- ゲストティーチャーの活用として、模範演技を実際に見せることがどれだけ子供たちにとって大切かがよく分かった。
- 今回の授業では、教師が動画を撮影していたが、今後は更にタブレットの効果的な使い方の研究が必要だと思う。

